

陶器タンク本体のがたつきが気になる

✓ 対象品

インナー樹脂タンク全般（陶器タンクの中に樹脂タンク有り）

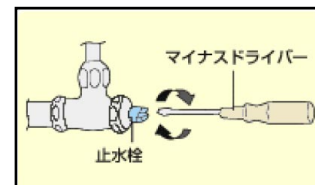
✓ 原因

陶器タンク本体を固定するナットが十分に締め付けられていない可能性があります。
ナットを増し締めしていただければ解消します。

✓ 固定開始、その前に

- トイレの止水栓を確認しましょう。
状況を正しく確認し、確実に作業を行うためにまず止水栓（元栓）を確認します。
- トイレの止水栓を閉めましょう。
右図のように止水栓をマイナスドライバーなどで閉めてください。（時計回りにまわします）

▲重要!：詳細は本PDF内「止水栓の閉め方」をご覧ください



✓ 固定方法

STEP 1 タンク内を空にします

一旦、便器洗浄をさせてタンク内の水を抜いてください。

STEP 2 タンク下のナットを締めます

タンク下にありますナットを手で時計回りに左右とも締め付けてください。

※工具で締め付けるとナットが破損することがありますので必ず手で締めてください。



※便器とタンクの形状は品番で違います。

※手洗いなし品もあります。

STEP 3 タンクのがたつきを確認します

タンクのがたつきがないことを確認ください。

STEP 4 止水栓を開けます

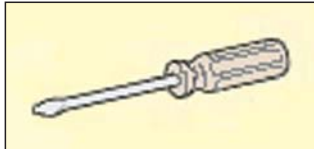
マイナスドライバーで止水栓を開けて（反時計回り）通水させてください。

※通水時には、漏水などないことを確認ください。

止水栓の閉め方

✓ 使用する工具

マイナスドライバー



✓ 止水栓の閉め方

STEP 1 止水栓の位置を確認します

止水栓は、タンクへの給水管に付いています。下の図を参考に、位置を確認してください。

タンク密結形便器の場合



ワンピース便器の場合



ウォシュレットが付いている場合は、ウォシュレット用の止水栓と間違えないようご注意ください。

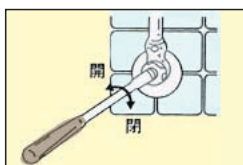
STEP 2 止水栓を閉めます(止水栓はマイナスドライバーで右(時計まわり)にまわすと閉まります。)

止水栓が見当たらない場合は

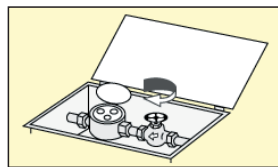
タンクまわりに止水栓が見当たらない場合は、家屋全体の元栓で閉めます。

元栓は水道メーターの近くに付いていますが、場所や形は種類や新旧によって違います。

いずれも右にまわすと閉まります。

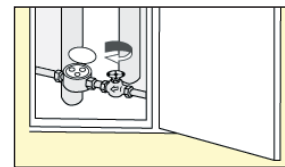


戸建住宅の場合



宅地内の地面にあります

集合住宅の場合



玄関横のパイプシャフト内にあります

STEP3 修理が終わったら止水栓を開けます